



札幌 ABA アカデミー基礎コース

「あきらめないで!! 自閉症・発達障がい児支援」
応用行動分析学実践基礎講座 100 (基礎 40 時間プラス実践 60 時間)

二つの国際資格を一つのコースで取得!

田中 桜子



NEW →  QABA 認定国際資格 ABAT (ABA 技術士)

プラス  BACB 認定国際資格 RBT (認定行動技術士)

講師 田中桜子 認定行動分析士博士 BCBA-D

呑谷恵 認定行動分析士 BCBA

呑谷 恵



令和3年4月いよいよスタート!

お申込み・お問い合わせは abasapporo@gmail.com

(注意: 初心者向けではありません。)

- ★週 3 時間授業 X11 週間 (33 時間、オンラインプラットフォーム CANVAS)
- ★事例報告と実技試験 第 12 週目 (7 時間、澄川の札幌会場にて開催)
- ★Field Experience 現場経験ⁱ 週 10 時間以上 6 週間 (60 時間+) ⁱ
- ★筆記試験 (オンライン 90 分)
- ★コース終了後に終了証明書を取得
- ★認定行動技術士資格取得 (実技と筆記試験合格の場合)
- ★BACB® (The Behavior Analyst Certification Board) RBTⁱⁱ 国際資格取得条件を満たす (英語での筆記試験が残る)
- ★QABA® (The Qualified Applied Behavior Analysis Credentialing Board) 資格取得のためにはさらに 15 時間の個別現場指導が必要

受講費: ¥114,400 (+税)

実技試験費用: ¥29,800 (+税)

筆記試験費用: ¥9,800 (+税)

最終試験なしの受講費: ¥74,800 (+税)

お試し受講プラン (オリエンテーション+ 講義 1 回): ¥15,000 (+税)

★QABA®の資格取得を希望される方は BCBA/BCaBA による個別指導・アセスメント料金が別途に必要となります。コース終了後に QABA の試験を先に受けてから 15 時間の個別実習を行うことは可能ですが、実習を含むすべての要件が満たされたときに資格証明書が発行されます。▶QABA®についての説明があるイベントが 3 月 28 日にあります。お申込み/お問い合わせは abasapporo@gmail.com まで

コース概要とスケジュール

受講前のオリエンテーション「Canvasでのウェブコースへの参加の仕方について」

4月5日（月曜日）午後7:00—8:30 もしくは

4月11日（日曜日）午前10:00-11:30 のどちらかを選択

（事前に案内通知、メール登録必須）

第一週 4月12日（月）—18日（日）

講義「コースと実践課題の説明」「視覚支援と環境の構造化」

- ▶コースの実践課題（事例研究）：それぞれの立場で現実的な行動変容の目標を決める（自分の行動、他者の行動）。コースを通じて介入を行い、データを取り、グラフにし、レポートを提出する。
- ▶行動の原理と応用行動分析学の前提たる基盤の考えについて学ぶ
- ▶様々な視覚支援と効果について学ぶ—その1

課題：1）文献を読みチャットにコメントを出しディスカッションに参加する

必ず読む文献：

D. M. ベア、M. M. ウルフ、T. R. リスレイ、中野良顕訳「応用行動分析学の現在のいくつかの次元」

RBT タスクリスト：A-1, A-6, C-3

ABAT タスクリスト：C-1, D-2, D-3, G-2

第二週 4月19日（月）—25日（日）

講義「行動の定義と測定 I」「自閉症についての基礎知識」

- ▶データ収集の準備、連続的測定手続き（頻度、持続時間など）、非連続的測定手続き（部分/全インターバル、瞬間タイムサンプリング、観察者間一致 IOA など）、永続的所産による記録、データの記入/計算とグラフ化、行動と環境の客観的かつ測定可能な定義、信頼性と妥当性について学ぶ。
- ▶自閉症スペクトラム障害についての基礎知識を学ぶ（特徴、欠陥、3領域での障害、警戒すべき早期のレッドフラッグ、ASDに伴うリスクファクター、診断に伴う用語、併存しうるほかの障害とそれらとの鑑別）

- 課題：1）行動を一つ標的に選び、定義し、測定方法について検討する（所定の用紙に記入）
2）文献のレビューBACB発行の「応用行動分析学による自閉症スペクトラム障がいへの支援：保健医療のスポンサーと管理のための実践ガイドライン」を読み、チャットにコメントを出しディスカッションに参加する。
3）クイズ10問に答える。

必ず読む文献：

竹島浩司ほか訳。「応用行動分析学による自閉症スペクトラム障がいの支援：保健医療のスポンサーと管理のための実践ガイドライン」BACB発行。

RBT タスクリスト：A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-6

ABAT タスクリスト：A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-6, A-7, C-1, G-1, G-4, G-5, G-6, G-7

第三週 4月26日（月）—5月2日（日）

講義「強化と弱化」「スキルの教え方 DTT, NET, PRT」「ABA のプログラムを理解する」

- ▶ スキル獲得計画書/プログラムの内容を理解する、そしてその計画書に基づいてセラピーセッションを準備する、強化の随伴性を用いる（条件性/非条件性強化、強化スケジュール）、DTT, NET の手続きを実行する、エラーコレクションとプロンプト、弁別訓練と刺激性制御の転移について学ぶ。

課題：1) 「強化と弱化」に関するテーマでチャットにコメントを出しディスカッションに参加する
2) クイズ10問に答える。

RBT タスクリスト：C-1, C-2, C-3, C-4, C-5, C-7, C-8

ABAT タスクリスト：C-2, C-3, C-4, C-4, C-5, C-6, E-1, E-3, E-12, E-13, E-14, E-15, E-16, E-17, E-20, E-21, E-22, E-23

第四週 5月3日（月）－9日（日）

講義「問題行動にどう対応するか」「行動の機能とアセスメント」「消去手続き」

- ▶ 行動の機能評価手続きを支援する、不適切行動を減らす行動変容計画書の基本的内容を理解する、行動の機能について説明できる、分化強化手続きを実施する（DRA, DRO など）消去手続きを実行するすべを学ぶ。また、米国における IDEA や機能に基づく IEP について理解する。

課題：1) 「問題行動の強化」に関するテーマでチャットにコメントを出しディスカッションに参加する
2) 介入事例ケーススタディのために自分もしくは他社の不適切行動を一つ標的に選び、客観的に定義し、機能評価をする（所定の書式に書き込む）**フィールドワーク開始**（SV 合意書、機密保持、機能評価実施への合意などの契約に準拠すること。）
3) クイズ10問に答える。

RBT タスクリスト：B-3, D-1, D-2, D-4, D-5, E-1, E-2, E-3, E-4, E-5, F1, F2

ABAT タスクリスト：B-1, B-2, B-3, B-6, C-4, F-1, F-2, F-4, G-1, G-2, G-3

第五週 5月10日（月）－16日（日）

講義：「強化子拡張と刺激選好査定」「行動の測定その2」（グラフの見方、FAのグラフの特徴）

- ▶ 強化子拡張 Expanded Community of Reinforcer ECR, 刺激選好査定、データ収集や測定方法とデータの特徴と偏り、グラフの見方とトレンド分析（決定プロトコル）について学ぶ。

課題：1) 前週に選んだ標的行動のベースラインのデータをもとに行動変容のゴールとプログラム（不適切行動を減らす）を講師のアドバイスのもとで作成する。ベースラインデータを取り続ける。
2) クイズ10問に答える。

RBT タスクリスト：A-1, A-2, A-3, A-4, A-6, B-1, B-3, E-1, E-2, E-3, E-4, E-5

ABAT タスクリスト：B-1, B-2, B-3, B-4, E-1, F-1, F-2, G-1, G-2, G-3, G-4, G-5, G-6, G-7

第六週 5月17日（月）－23日（日）

講義「問題行動を減らす・無くす手続き PBS」「動機づけ操作」「そのほかの弱化手続き」

- ▶ 積極的行動支援 PBS、行動の競合図、問題行動を維持する強化子の消去と代替行動の強化、またオーバーコレクション、レスポンスコスト、タイムアウトなどの弱化手続きのほか、動機づけ操作などの事前介入についても学ぶ。

- 課題：1) 行動変容のゴールとプログラム（不適切行動を減らすPBS）を講師のアドバイスのもと作り、介入を実行する。データを取り、グラフ化する。
- 2) 「行動の機能に基づくセラピー」について感想をチャットにて述ベディスカッションに参加する
 - 3) クイズ10問に答える

RBTタスクリスト：B-2, D-1, D-2, D-3, D-4, D-5, E-1, E-2, E-3, E-4, E-5

ABATタスクリスト：B-1, B-2, B-3, C-4, E-1, F-1, F-2, F-3, F-4, G-1, G-2, G-3, G-4, G-5, G-6

第七週 5月24日（月）－30日（日）

講義「課題分析と連鎖化」「シェーピング」「プロンプト」「トークンエコノミー」

▶課題分析と連鎖化、シェーピング、プロンプト、プロンプトフェーディング、エラーコレクション、トークンエコノミーについて学ぶ。

課題：1) 行動変容のゴールとプログラム（不適切行動を減らすPBS）を講師のアドバイスのもと作成し介入を実行する。データを取りグラフ化する。

- 2) トークンエコノミーを使った経験かこれから使う計画についてチャットにて述ベディスカッションに参加する。
- 3) クイズ10問に答える。

RBTタスクリスト：C-3, C-6, C-9, C-10, C-12, E-1, E-2, E-3, E-4, E-5

ABATタスクリスト：B-1, B-2, B-3, C-4, D-1, E-2, E-4, E-5, E-6, E-7, E-12, E-13, E-18, E-19, G-1, G-2, G-3, G-4, G-5, G-6

第八週 5月31日（月）－6月6日（日）

講義「言語行動と早期療育プログラム」「強化スケジュール、般化」

▶言語行動理論、臨床への応用、VBMAPP/ABLLS-R、早期療育パッケージ（ドメイン、アセスメント、ゴール設定、プログラムとステップ、マストライアルと cold probe など）強化スケジュール、般化と維持のシステム化について学ぶ。

課題：1) 行動変容のゴールとプログラム（不適切行動を減らすPBS）を講師のアドバイスのもと作り介入を実行する。データを取りグラフ化する。

- 2) ケース事例の中間報告をチャットにて提出、質問やコメントを出す。
- 3) クイズ10問に答える

RBTタスクリスト：B-2, C-1, C-2, C-3, C-4, C-5, C-7, C-8, C-9, C-10, C-11, E-1, E-2, E-3, E-4, E-5

ABATタスクリスト：B-1, C-5, C-7, D-1, E-8, E-9, E-10, E-11, E-21, G-1, G-2, G-3, G-4, G-5, G-6

第九週 6月7日（月）－13日（日）

講義「視覚支援とCBT：社会スキルと家族の支援」

▶認知行動療法、ソーシャルストーリー、ソーシャルシンキング、家族との連絡の工夫、クライアントの尊厳を優先したコミュニケーションについて学ぶ。

課題：1) 行動変容のゴールとプログラム（不適切行動を減らす PBS）を講師のアドバイスのもと作り
介入を実行する。データを取りグラフ化する。

RBT タスクリスト：C-6, C-8, C-9, C-10, C-12, E-1, E-2, E-3, E-4, E-5, F-3, F-4, F-5

ABAT タスクリスト：B-1, B-5, D-1, D-2, D-3, G-1, G-2, G-3, G-4, G-5, G-6

第十週 6月14日（月）－20日（日）

講義「PBS/BIP と緊急時のプロトコル」

▶積極的行動支援のフルバージョンについて事例をもとに学ぶ。緊急時（他害/自害や自然災害などの危険な行動/状況が生じたときの対応のプロトコルについて事例を学ぶ。

課題：1) 行動変容のゴールとプログラム（不適切行動を減らす PBS）を講師のアドバイスのもと作成し
介入を実行する。データを取りグラフ化する。

2) 緊急時のプロトコルについて過去または現在に使用したことのある内容、またはこれから必要なプロトコルについてチャットにて述ベディスカッションに参加する。

3) クイズ10問に答える

RBT タスクリスト：D-6, E-1, E-2, E-3, E-4, E-5

ABAT タスクリスト：D-1, F-1, G-1, G-2, G-3, G-4, G-5, G-6

第十一週 6月21日（月）－27日（日）

講義「登録行動技術士 RBT/ABA 技術士 ABAT としての倫理ガイドライン」

▶拘束、弱化学手続き、消去手続きなど特定の介入手続きに関わる倫理的問題、プロフェッショナルとしての行動、クライアントの尊厳、アドボカシー、HIPAA について「RBT 向け倫理規約」「QABA 倫理コード」を学ぶ。

課題：1) 行動変容のゴールとプログラム（不適切行動を減らす PBS）を講師のアドバイスのもと作成し
介入を実行する。データを取りグラフ化し、所定の書式を使ってレポートにまとめ、提出。

2) チャットにてケーススタディについて簡単に報告し、他者へのコメントも出す。

RBT タスクリスト：E-1, E-2, E-3, E-4, E-5, F-1, F-2, F-3, F-4, F-5

ABAT タスクリスト：B-1, B-2, B-3, B-4, B-5

試験日 6月27日（日）

実技試験（個別、課題はシナリオで与えられる：タイムインターバル測定、トークン、DTT、NET、
刺激性制御の転移、弁別学習、プロンプト、刺激選好査定、シェーピング、連鎖化、）

事例報告：各自10分、グラフと可能であれば動画を使い、事例をプレゼンする。

場所：札幌市豊平区中の島1条10丁目2-3 2階 札幌 ABA アカデミー

時間：9:00～16:00

筆記試験（Canvas オンラインテスト 85問 90分）

必須文献

RBT ハンドブック <https://www.bacb.com/rbt/>

QABA Ethical Codes of Conducts

QABA 資格候補者用 ハンドブック

BACB Ethics Codes 2022 (cf. 2017 年の日本語訳)

「応用行動分析学の現在のいくつかの次元」 D. M. ベア、M. M. ウルフ、T. R. リスレイ、中野良顕訳

「応用行動分析学による自閉症スペクトラム障がいの支援：保健医療のスポンサーと管理のための実践ガイドライン」竹島浩司ほか訳 BACB 発行

家族と共に行う積極的行動支援 (Positive Behavioral Support) Joseph M Lucyshyn, Robert H Horner, Kathy R. Ben 1996 年 7 月

PEAT Simple Steps Autism [Simple Steps Autism ABA online training](#)

副読本

1994(2003)「わが子よ、声を聞かせて」キャサリン・モーリス著、河合洋監修、山村宣子訳 NHK 出版

2013. 「応用行動分析学」ジョン・O・クーパー、ティモシー・E・ヘロン、ウィリアム・L・ヒューワード共著
中野良顕訳 明石書店

2015. 「行動分析家の倫理—責任ある実践へのガイドライン」ジョン・ベイリー (著), メアリー・バーチ (著), 日本行動分析学会行動倫理研究会 (翻訳) 二瓶社

2003 (1997) 「問題行動解決支援ハンドブック」ロバート E. オニールほか著。三田地真実ほか訳。学究社



ⁱ 通常 RBT は週に最低 10 時間は ABA を活用した現場での fieldwork/現場作業をしている。この基礎講座では次のように定義された現場経験を最低週 10 時間 6 週間にわたり、コース開始時から終了時まで講義以外の時間に、体験することになります：

1. 標的行動を設定し、行動介入を行い、データを収集し、グラフ化する。
2. 行動介入のために必要なアセスメントを行う。
3. 行動分析的手法とパフォーマンスマネジメントのデザインを自分/他者の行動に対して用いる。
4. ならびに行動分析プログラムの計画会議に出席する、プログラムに関わる文献のリサーチをする、プログラムについて個別に説明するなどの行動分析に直接関係する活動。
5. 不明なこと、問題があった場合はすみやかに指導者に連絡すること。
6. 倫理規範に準じて以上を行うこと。

この現場経験を記録するための書式を使って記録し、提出していただきます。

ⁱⁱ RBT Registered Behavior Technician 資格取得用の試験についてはこちら <https://home.pearsonvue.com/bacb>

RBT ハンドブック <https://www.bacb.com/rbt/>